

総会・総代会を軸とした
年間を通じた組合員の運営参加を広げよう！

関西北陸ブロックでは、2019年度も引き続き「**総会・総代会を軸とした年間を通じた運営参加を広げる**」ことを大切に伝え続けたいと思います！

総会・総代会の取り組みや総代活動を通じて、組合員の運営参加について考えていきましょう！

- ▶ 総会・総代会はすべての大学生協で必ず行うからこそ、運営参加を考えるきっかけに！
- ▶ 必ずしも総会・総代会で運営参加を実現できるということではなく、総会・総代会で考え方を養っていこう！

実現したい運営参加と大切にしたい視点

ひとりひとりの組合員が要望・生活実感を大学生協で伝えあい、すべての組合員にとって魅力ある事業と組織をつくっていくこと

- ✓ 組合員がもっているさまざまな要望・生活実感は、大学生協の事業・組織をよりよいものへと発展させていくために必要不可欠
- ✓ ひとりの要望・実感が基となる事業・組織は、ひとりのためではなく、すべての組合員のためのものになる
= 大学生協を通じて、組合員どうしが事業・組織づくりをともに行う

実現したい運営参加と大切にしたい視点

- A) 多様な生活実感を反映できること
= 基盤づくり
- B) より多くの声と参加により進められること
= 仕掛けづくり
- C) 断続的ではなく、継続的に展開されること
= 特別なことにしない

総会・総代会は組合員の運営参加の始まりであり、1年間の他の組合員との関わりを積み重ねてきたゴールでもあります。
「今年は実出席が集まらなかったからだめだね…」では終わらない取り組みを進めていきましょう！！

1～3月期のポイント

01 学生と職員で、総会・総代会の位置づけと運営方針について話し合う場を持ちましょう！

- ◆ 総会・総代会がどういう場であるか **学習の場を持ちましょう！**（現1回生にも理解を広げよう！）
- ◆ どういうことを大切にしたい総会・総代会にする？ **総会・総代会運営方針**を持ちましょう！
 - ✓ **自分たちの生協の年間方針・ビジョンづくり**に、どのような組合員参加が可能かな？
 - ✓ 総会・総代会前にどのような場面づくりができるかな？
 - ✓ 総会・総代会後にどのような場面づくりができるかな？
- ◆ 総会・総代会をどういう場にするか、以後の組合員参加をどう発展させていくのかを職員と学生の目線を組み合わせて考えていきましょう！

02 理事会メンバーの一人ひとりに、総会・総代会の「運営者」である認識を持ってもらいましょう！

- ◆ 理事会メンバーみんなで自分たちの生協の **年間方針案策定に向けて意見交流をしましょう。**
- ◆ **設立趣意書を理事会で確認**し、生協の役割と必要性を改めて見つめあいましょう！
- ◆ 当日提案する議案についても事前に理事会で協議して確認をとりましょう。
- ◆ 2019年総(代)会には、ぜひ、**議案書にも「設立趣意書」を掲載**し、他の組合員にもわかってもらいましょう！
- ◆ 2019年度も、「新任 理事/監事学習会」をブロック・各エリアで計画します。

03 総代選出に向けて、様々な階層の総代が生まれる工夫を考えよう！
総会制の生協は、様々な階層の人に総会参加を呼びかけよう！

- ◆ 学部生だけでなく、留学生や院生、教職員の総会・総代会参加が増える工夫をしましょう。
- ◆ 様々な階層からの参加を生むことで、**組合員みんなの生活実感をもとにした総会・総代会づくり→生協づくり**を目指しましょう。

